学校番号	1101

令和２年度　　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂβ	単位数	２	年次	３
使用教科書	高等学校　新編「現代文Ｂ」（東京書籍）						
副教材等	プライム常用国語（第一学習社）						

１ 担当者からのメッセージ

・基礎的な力を身に付け、国語に関しての応用や発展に活用できるようにしましょう。
・問題読解や長文記述などを取り入れた授業を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２ 学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	小説	教材: ・「カンガルー日和」 ・「鞄」	○			◎		a:意欲的に取り組んでいる d:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:視野を広げ感性を磨くきっかけを掴んだか
	評論	教材: ・「最初のペンギン」 ・「カフェの開店準備」			◎		○	c:筆者の考えや立場を読み取り、要約や主題をまとめることができる e:文章が切り取る現代社会の側面について考えることが出来たか	c:記述の確認及び分析 e:小テスト及び定期考査
後期	小説	教材: ・「山月記」 ・「葉桜と魔笛」	○			◎		a：小説を通して。他人の心情を理解する姿勢が身についた d:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査
	評論	教材: ・「言葉は世界を切り分ける」 ・「未来のありか」		◎	○		○	b:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えようとしている。 c:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e:文章が切り取る現代社会の側面について考えることが出来たか	b:行動の観察及び記述の点検 c:記述の確認及び分析 e:小テスト及び定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く能力 c:書く能力
d:読む能力 e:知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。